

問題発見型／解決型学習(FBL/PBL)
テーマ提案（学生募集内容） / Project Proposal

テーマ名称 Project name	京都不便益ツアーの実装 Implementing FUBEN-EKI Kyoto Tour
実施責任者 Instructors	情報学研究科システム科学専攻 [助教] [平岡敏洋] T. Hiraoka, Assist. Prof., Dept. of Systems Science デザイン学ユニット [特定教授] [川上浩司] H. Kawakami, Prof., Unit of Design 総合博物館 [准教授] [塩瀬隆之] T. Shiose, Assoc. Prof., The Kyoto University Museum
実施協力者 Collaborators	俵プロダクション [谷俵太] H. Tani, Tawara Production ことぶら 代表 [田中英哉] K. Tanaka, President of Kotobura
テーマの背景 Background	「効率だけではダメだ」とはよく聞く言葉であるが、モノやコトをデザインする者にとっては「効率に代わるデザイン指針」を問われると、確たるものは思い当たらない。「モノに属するユーザビリティからコトに属するユーザエクペリエンスへ」というスローガンはよく耳にするが、具体的な方策を問われると、これもまた暗中模索の段階にある。これらに対する一つの回答として、不便だからこそその効用（不便益）を活用するという指針あるいは方策が提出されている。
実習の概要 Overview	不便だからこそその価値のあるツアーを、京都を舞台にして実装する。数々の画期的なユニークツアー（田中さん限定ツアー、京都市内ルーレットツアーなど）の発案と実装で知られるツアープランナーの協力を得て、アイディエーションだけで終わらせずに社会実装するところまでを実体験する。ただし、参加者に「不便だからこそその益」が得られるツアーであることを条件とする。なお、各種メディアを使った PR や集客方法の考案もカリキュラムに含まれる。 Focusing on city tour in Kyoto, we are going to design “inconvenient therefore beneficial tours.” One of the most famous tour planner in Kyoto, known as the planner of “the tour for Mr. and Ms. Tanaka” and “roulette tour in grid system of Kyoto city” will collaborate with students to implement ideas to real tours.
実施計画、実施場所 Schedule, location	吉田キャンパスおよび京都市内。詳細は実施計画を参照。 Location: Yoshida Campus and Kyoto City.
履修条件 Conditions for participation	特になし。 No condition.
募集人数 / Number of participants	3名以上, 12名以下 More than 3, less than 12
1次募集締切 Application deadline	10月7日（金）
応募資格 Intended participants	京都大学の学生。応募多数の場合には、デザイン学履修生を優先する。 Students of Kyoto University. In case of too many applicants, students enrolled in design school have a priority.
応募方法 How to apply	デザイン学公式 Web の FBL/PBL のページ（下記）から参加申込を行うこと。 http://www.design.kyoto-u.ac.jp/activities/fbl_pbl/

参加者の決定 Decision of participants	10月13日(木)までにメールで参加の可否を通知。 ※1次募集で参加不可となった者を主な対象として2次募集を行う(10月14日～18日)。参加者枠に余裕のあるテーマに応募可能。(原則として先着順)
問題発見や解決に用いるデザイン理論やデザイン手法 Design theories and methods for framing and solving problems	不利益, ブレストバトル, リフレイミング Benefit of Inconvenience, Brain-Storm Battle, refluaming.
理論や手法の学習方法 How to study theories and methods	実習中に実体験する Living experience facilitated by experts.
成果の公開方法 Publication of the results	発表会、あるいはwebに掲載 Presentation to interested persons, or posting on web pages.
成績評価方法 Evaluation	出席4割, 結果3割, 活動状況3割 Attendance rate, results of practice, and contribution to the class.
特記事項 Special remarks	テーマに関する質問があればメールで受け付ける We accept any question by e-mail to kawakami@design.kyoto-u.ac.jp

実施計画 / Schedule

コマ Unit	日程 Date	場所 Location	実施内容 Content
1-2	10月第3週 3rd week Oct.	吉田ファブ	導入と課題説明. 以降の日程(13コマ分, 1月下旬までに実施)と場所の調整.
3-4	10月第4週 4th week Oct	吉田ファブ	アイディエーション
5-6	11月第1週 1st week Nov	吉田ファブ	詳細化
7-8	11月第2週 2nd week Nov	吉田ファブ	プレゼン(ツアーとして, 不利益として評価)
9-10	11月第3週 3rd week Nov	吉田ファブ	告知文とキャッチ作成
11-12	1月第2週 2nd week Jan.	吉田ファブ	ツアー申込み結果発表と注意事項共有
13	1月中旬 mid Jan.	京都市内	下見とガイド練習
14-15	1月下旬 late Jan.	京都市内	ツアー実施の当日ガイド